

谷田部地区もTX沿線もさらに前へ!!



1

地域と連携した学校施設のあり方を谷田部小をモデルに検討

長い歴史を持つ谷田部小学校は老朽化が進んでいます。また、当時の設計で廊下が無くペランダを歩いて移動しなくてはならない等、学びの環境としても課題があります。**谷田部小学校を新しく建て替えることで、こどもたちの学びにふさわしい環境づくり**を進めていきます。さらに、学校を地域全体に開かれたものにするために、地域のコミュニティで学校の図書館や音楽室などを使えるようにするとともに、近隣の体育館や市民アリーナも連携させることで、**財政負担を抑えながら谷田部市街地の持続可能な拠点づくり**を検討していきます。



応援メッセージ

今川 美明さん(谷田部)

五十嵐市長の手腕を全面的に信頼しています。長年地域の住民が愛着を持っていた谷田部小を、さらに地域に開かれたものにする事で**市街地全体の活性化を図り**ながら、同時に財政的にも負担を少なくさせるという発想は、まさに次世代の**地域経営のお手本**です。その手腕を発揮し続け、つくばを世界に冠たるまちにしてもらいたいと思っています。



新しい学校へ建て替え地域の拠点化を目指す谷田部小学校

2

TX沿線に図書館や子育て複合施設の検討

長年市民に親しまれてきました中央図書館は建設から34年が経ち、人口増、まちの規模に対して過密化してきました。現在のつくばにふさわしい図書館機能とあわせ、子育て世代のみならず**多世代の活動の拠点となる場所を、TX沿線に検討**しています。整備計画は今後市民や議会と対話を積み重ねながらともに創っていきます。



イメージ

3

つくば中央IC周辺の産業用地開発と道の駅の整備検討

現在、つくば中央インターチェンジ周辺を産業用地として整備するために、市役所が事務局を支援して進めています。つくば市の中心部に残された貴重な**まとまった用地を効果的に活用することで、新たな雇用の場を生み出します**。さらに上河原崎・中西地区西側と緑が丘地区周辺を産業拠点の候補地にしました。また、道の駅について、**西大通り沿いの松野木地区と、(仮称)つくばスマートIC周辺の島名地区**を候補地の案として検討しています(市内4候補中の2ヶ所)。新たな雇用と増収、そして地域の経済を活性化させ、サービスにつなげる好循環を生み出します。

地域の市議の皆さんとしっかり連携していきます



塩田 ひさし
市議会議員



長塚 たかひろ
市議会議員



黒田 けんすけ
市議会議員

今や全国の市長が五十嵐市長の打ち出す政策に注目しています！グローバルの場で発信出来る数少ない市長でもあります。引き続きの大活躍に期待しています！！



高島 宗一郎 福岡市長

ポスター設置
チラシポスティング

ボランティア大募集

いがらし立青のポスターをご自宅やお持ちの土地などに貼ってくださる方を募集しています。
「貼ってもいいよ」という方はぜひ事務所へご一報ください！(スタッフが貼りに伺います。)

ひとりでも多くの方にいがらし立青の思いを伝えるために、チラシをポスティングしてくださる方も募集しています。10枚でも20枚でも大歓迎です。ぜひ事務所へご連絡ください！

- G1の「新世代リーダー・アワード」にて、その年最も活躍した若手政治家に贈られる政治部門受賞(19年度)
- 人口増加率日本一(23年)
- 人口増加数一般市で2年連続日本一(22、23年)
- 公約のロードマップと実現力が評価され**マニフェスト大賞優秀賞を2回受賞**(1期目は82項目で進捗率90.4%、2期目は135項目に増やし現在86.1%)
- 世界で約70人のみの市長や知事が選ばれる**OECD(経済協力開発機構)チャンピオンメイヤー選出**
- 3男1女の父として、**ベストファーザー賞(政治部門)受賞**、料理も家事も全力です



ベストファーザー賞(政治部門)受賞
落語家の桂宮治さんたちと一緒に



多くの国際会議に招待され登壇、議論をリード

いがらし立青のプロフィール

- 1978年 つくば市(桜村)生まれ
- 1997年 並木小学校、並木中学校、土浦第一高等学校卒業
- 2002年 筑波大学国際総合学類卒業
- 2003年 ロンドン大学 UCL 公共政策研究所修士課程修了
研究助手兼務
- 2004年 つくば市議(1期目)
- 2007年 筑波大学大学院 人文社会科学部研究科修了 博士
(国際政治経済学)
- 2008年 いがらしコーチングオフィス設立
つくば市議(2期目)
- 2010年 NPO法人つくばアグリチャレンジ設立
障害のあるスタッフが働く農場
「ごきげんファーム」を経営(2016年代表退任)
- 2016年 つくば市長(1期目)
- 2020年 つくば市長(2期目)

いがらし立青の活動はSNSでも発信中！



Facebook
@tatsuo21



Instagram
@igarashitatsuo



X (旧Twitter)
@igarashitatsuo



公式LINE
@dco1718t



Respect Our Neighbors

青風会

[発行元] いがらし立青後援会 青風会

〒305-0854 茨城県つくば市上横場2255

(元アッセ敷地内バーガーキング跡)

TEL:029-896-9811/FAX:029-896-9812

E-mail info@igarashitatsuo.com

討議資料

谷田部地区も TX沿線も 大きく変化しています

市長就任以来、皆様からのお声を数多く伺い、取組を進めてきました。

1 「みどりのプール」オープン

みどりの地区に新たなプールをオープンしました。**午前中は周辺で最大11校の小中学生が使い、午後や週末は市民が使う共同のプール**です。各学校にプールを整備するのではなく1年間使える温水プールを共同で利用することで、こどもたちもいい環境で学べ、先生もプールの管理の負担や天候による授業変更等に追われることもなく、**地域住民にとっても健康の新たな拠点となる工夫**をし、今後の公共施設のあり方としても注目されています。早速多くの市民で賑わっています。



応援メッセージ

渡邊 周一さん(みどりの)

以前、谷田部地区にあったプールは健康とコミュニティ作りの場となっていて、谷田部やみどりの地区にプールを中心とした新たな拠点作りの可能性を提案してきました。今回、**学校のこどもたちと市民の共同利用という画期的な形で**それを実現してもらえたことはとてもうれしく思います。市長には、今後も地域の課題に真摯に取り組んでいただけることを、心から期待しています。



学校と地域で共同利用する「みどりのプール」

2 谷田部の活性化協議会を全面支援

就任前は各地の歴史ある市街地から「取り残されている」「行政が目を見てくれない」との数多くの声を聞きました。そこで、就任後すぐに、市役所の中に各市街地を支援する組織を作りました。そして、谷田部地区でも**みなさまと対話を重ね、地域が主体の協議会を立ち上げる支援**をしました。現在、谷田部が生んだ天才発明家・飯塚伊賀七を軸にした取り組みが進んでいます。



応援メッセージ

高野 培美さん(谷田部)

五十嵐市長の就任前を思い出せば、谷田部のまちなかは本当に寂しい状況でした。空き店舗は増え、イベントもほとんど行われず、衰退を嘆いていました。今は、活性化協議会で伊賀七の公演を行えば多くの人が集まり、伊賀七のまんじゅうを作ったり、マルシェなどのイベントも増え、とても盛り上がっていて**8年前とは見違える**ようです。これからもぜひこの方向で進めてもらいたいです。



まちなかにできた協議会の活動拠点

3 つくバスのルート改善 つくタクの予約改善

移動を容易にするために、**つくバスの過去最大規模の改編を行い、西部シャトルを作りました**。ルートやバス停の位置を決めるためには地域のみなさまとの対話も重ねました。今年10月からはさらに利便性を高めるため、**西部シャトルを下妻市への乗り入れをするコースと、常総市の道の駅に乗り入れる「みどりのシャトル」に分割**します。また、松代循環などのコースも市民の移動ニーズを踏まえてきめ細やかに整備しました。また、つくタクは予約を取りやすいシステムに改善しました。



応援メッセージ

片野 久子さん(真瀬)

移動が本当にしやすくなりました。これまでは車を持っていなければ移動ができませんでしたが、つくバスのルートが充実したり、つくタクの予約が取りやすくなったことで**格段に便利**になりました。**地域の高齢者の移動にしっかり目を向けて**くれていることはとてもありがたいです。



ルート改善を進めるつくバス

どんどん

46歳

たつお

つくば市長 いがらし立青

4 地区相談センター 創設で地域のご相談を解決

地区のご相談を地区内で伺い、たらいまわしにしないで対応するセンターを作りました。現在は**すべての交流センターに設置**して、数多くのご要望に対して迅速に対応しています。



交流センターの身近な相談窓口

5 小中学校の 着実な建設と地域開放

就任後すぐに、つくばエクスプレス沿線の人口増加に対して、学校が十分に対応できるのかを精査したところ、当時の計画では全く足りていないことが明らかになったため計画を見直しました。そこから**土地を確保し、研究学園小中学校、みどりの南小中学校、香取台小学校の開校**をしました。設計にあたっては、1階に図書室や家庭科室・音楽室などを配置し、セキュリティも分けることで地域のみなさんが週末に活用できるようにしました。人口減少期を今から視野に入れて、**長期的なコミュニティの育成**を進めていきます。



週末は市民が使える新たな学校

6 「防犯ステーション」新設

住宅が一気に増えた地域では、安心安全を守るために県による交番の設置が望まれています。ただ、設置までは時間が掛かるので、地域のみなさまの提案を受けて**交番が設置されるまで市として「防犯ステーション」**をみどりの地区に設置しました。県警OBなどを市として雇用し、地域の安全と安心を守ります。



安心安全を守る防犯ステーション

7 区域指定の拡大

全国から移住者が増える人気のつくば市で、駅前以外にも住宅のニーズが増えています。**住宅を建てる土地を増やすために区域指定を拡大し、新たに宅地を建てられる用地を作る**ことによって、地域の活力につながっていきます。

8 「かつらぎ交流館」オープン

児童が急増していたにも関わらず対応する計画がなかった葛城小で、新たに土地を購入し**こどもたちがゆとりを持って過ごせる環境を整備**。同時に、児童館棟とあわせて地域のコミュニティの拠点となる「かつらぎ交流館」を整備。新たな居場所が生まれ様々な活動にご利用いただいています。



地域の居場所になる「かつらぎ交流館」



応援メッセージ

河村 庄三さん(刈間)

五十嵐市長は、地域で出した要望書をしっかり受け止めてくれ、かつらぎ交流館の建設につなげてくれました。地域の大切な八坂神社のお祭りにも毎年顔を出してくれたり、グラウンドゴルフの環境整備など細かいところまで**本当に丁寧に話を聴きすぐに動いてくれて**とても心強いです。

その他にも数多くの
取組を進めています

● みどりの部活地域移行

● 手代木南幼稚園の3歳児受入

● 谷田部老人福祉センターのお風呂時間延長